



◆ あっという間に過ぎ去った7月

富山のみなさんこんにちは。富山はものすごく暑い日が続いたみたいですね。ブラジルに来てから4ヶ月が経ちました。先月よりも時間の経過を早く感じた月でした。ブラジルでの生活のあらゆる面に慣れてきたからでしょうか。また7月は先月引いた風邪が再発してしまい、体調が万全でない日々が続きました。先月のアリアンサ通信にも書きましたが、ブラジルの冬は本当に寒いのです。その上、雨も2ヶ月程降っていないため空気もとても乾燥しています。その気候を僕は甘く見ていました。ブラジルといえば「暑い国」というイメージを持っていたので、この気候はただ驚くばかりでした。結局6月末に罹った風邪が完治したのは7月の末でした。こんなにも長い風邪を引いたのも人生で初めてです。

また今月は入植祭を始め、様々なイベントが第3アリアンサ内外で行われました。主なものを紹介していきます。

◆ 日本祭り 7月8日(土)

ブラジルでは日系団体が中心となって各地で日本祭りが開催されています。その中で世界最大規模と言われているのが、サンパウロ市で金、土、日の3日間開催される「日本祭り(Festival do Japão)」です。毎年約20万人がやってくるそうです。会場には日本の食品、製品、文化紹介などのブースがたくさんあり、フードコートでは、ブラジルにある日本の都道府県人会がそれぞれの地域で有名な料理を販売していました。

私は富山県人会のお手伝いをするために参加しました。富山のブースではコロッケ、白えびの天ぷら、すき焼き丼を販売しました。お昼頃になると商品を求めるお客さんが長蛇の列になっていました。また、会場には富山県のマスコットの「きときと君」も来ていました。ものすごい人気で、多くの方が嬉しそうに写真を一緒に撮っていました。地球の裏側で富山を感じていただけるのは大変嬉しいことだと感じました。今回は祭り全体を見る機会はあまりなかったので、またいつかこの祭りに参加したいと思いました。



入り口には大きな鳥居がありました



日本のビール会社のブースです



富山県人会のブースです ※ここはブラジルです



ブース内の様子です



すき焼き丼です。美味しかったです！



久しぶりにコロッケを食べました



きときと君&なまはげと記念撮影

## ◆ 第3アリアンサ入植90周年祭 7月15日(土)

第3アリアンサの公民館で入植90周年祭が行われました。90周年という節目の年ということもあり、富山県からは山崎副知事を始めとする5名の訪問団がここ第3アリアンサに来られました。またブラジルからは連邦議員や市長を始めとする来賓の方々、第3アリアンサで生まれ育ち今は故郷から離れて住んでいるの方々などが来られ、約600人が集まった盛大な入植祭となりました。この日のために第3アリアンサの方々は金曜日の朝からそれぞれ分担して準備を行い、婦人会の方々は当日の朝5時から祝宴の食事の準備をしていました。

日本語学校の子どもたちにとっても今日は初めて人前で日頃の成果を発表する1日でした。普段は6人しか子どもはいませんが、ブラジルの冬休み期間中ということもあり、里帰りしている子どもたちも参加しました。なかなか全員が揃って練習をする機会がない中で、一生懸命に自己紹介とダンスの発表しました。子どもたちの活躍を見ることができ大変良かったです。



ステージの様子です



慰霊法要の様子です



ものすごい数の人です



今週もきときとくんに会いました



頑張って踊りました

## ◆ 第 60 回全伯日本語教師研修会 7 月 21 日(金)～23 日(日)

サンパウロ市内のブラジル日本語センターで開催された日本語教師研修会に参加してきました。今回は「日本を伝えよう～人の集まる日本語学校づくり」というテーマの下、ブラジル中の日本語教師が約 80 人集まり、指導法等を学びました。新しい指導法のヒントを得られたことはもちろんですが、研修を通して日本語教師同士の繋がりを作ることができました。そのことが何よりの収穫でした。研修内では講師を担当していた同じ JICA ボランティアの方のお手伝いで朝の体操をしました。「ラーメン体操」と「エビカニクス」という体操なのですが、大変面白くオススメです。みなさんもぜひやってみてくださいね。

